

滋賀県議会議員

村上げんよう

県政レポート 新春号 [第24号] 令和8年1月 発行

子どもたち 働く世代
元気の
お年寄り 処方箋



村上げんよう事務所 〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口5595番地1 ボヌールビル4階 Tel:0748-70-3833 Fax:0748-70-3653

謹賀新年



本年が皆様にとって明るく実りある一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。
本年も一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
各地で起きた強い地震により、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

滋賀県議会議員

村上げんよう



11月定例会議 (令和7年12月19日 最終日)

物価高対策など総額約461億9000万円の補正予算案を可決

国経済対策を効果的に活用し、物価高や災害等から県民の暮らしを守るとともに、地域経済の成長を促すため、喫緊の課題に迅速に対応



本会議にて厚生・産業・企業
常任委員会委員長報告

I 物価高などへの対応 約80億2000万円

- 滋賀県未来投資支援事業
- 医療・介護等支援パッケージによる支援
- 近江の地酒緊急支援事業
- LPガス・特別高圧電力利用者への支援



II 地域経済の成長 約26億8000万円

- 農畜水産業経営強化緊急対策事業
- 観光誘客臨時対策事業
- 農地中間管理事業推進基金積立金
- 公立学校情報機器整備基金積立金



III 災害などへの備え 約272億800万円

- 避難所環境改善支援事業
- クマ被害対策
- 伊吹山保全等対策事業
- 公共事業(土木、土地改良、林野)
- 特別支援学校の施設整備



詳しい内容については、滋賀県のホームページをご参照ください。



湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025
2025年9月28日(日)～10月8日(水)・2025年10月25日(土)～10月27日(月)

県内各地で選手の皆さんは、日ごろの練習の成果を存分に発揮され、大きな盛り上がり数々の感動を生み出し、滋賀県を元気にしていただきました。まさに「みんなが輝く滋賀」を実現していただきました。
この大会が成功裏に終えることができたのは、選手を支えてくださったご家族・指導者、大会運営に携わっていただいた皆さんのおかげと、厚くお礼申し上げます。



【令和7年11月19日】
「わたSHIGA輝く国スポ」報告会
選手・関係者の皆さんの素晴らしいご活躍のおかげで、天皇杯・皇后杯獲得という快挙を成し遂げていただき、ありがとうございました。



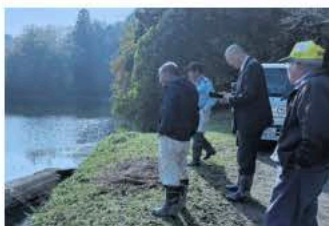
【令和7年12月2日】
「わたSHIGA輝く国スポ」
甲賀市選手報告会
甲賀市の選手は金メダル14個・銀メダル8個・銅メダル6個計28個のメダル獲得、陸上競技4種目で大会新記録という輝かしい素晴らしい成績をあげられ、改めて敬意を表します。



活動報告 ～魅力ある地域づくり“心”と“身体”の『健康しが』を!!～



【令和7年11月26日】
自民党本部ビルにて
有村治子総務会長を表敬訪問



【令和7年11月14日】
地元甲賀市要望の視察調査



【令和7年10月12日】
あいの土山宿場まつり



【令和7年11月1日～2日】
第39回あいの土山マラソン
開会式・レセプション



【令和7年11月2日】
甲賀市バラスポーツ協会
サッカー教室&交流試合



【令和7年12月23日】
草津線活性化・振興化促進期成同盟会
JR西日本要望・意見交換会



【令和7年10月21日～22日】
国スポ・障スポ大会・観光振興対策特別委員会 行政調査
令和6年国スポ開催された佐賀県と、令和6年JRの
観光キャンペーンが実施された福岡県を調査



【令和7年11月15日】
滋賀県理学療法士会 創立50周年記念式典



【令和7年12月6日】
甲賀市長杯ボッチャ市民交流大会

村上げんようの日々の活動はFacebookに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

村上げんよう事務所

〒528-0005
滋賀県甲賀市水口町水口5595番地1 ボヌールビル4階
TEL: 0748-70-3833 FAX: 0748-70-3653

E-mail: genyo@ac-koka.jp
村上げんようホームページ: <https://murakamigenyo.net/>
村上げんようFacebook: facebook.com/murakamigenyo/



何かご意見
ご要望等あれば
ご連絡ください

◀ ホームページ



代表質問

11月定例会議



三日月知事3期12年の成果を質す!!

きりた まこと
質問者 桐田 真人 議員

広域化への調整や、複数市町との取組みに対する重点支援は県の役割であり、計画の中にも位置づけています。
住民の日々の生活に直結する移動手段の維持・充実、「豊かな暮らし」を実現する上で重要であり、施策実施のための県と市町との負担割合は、市町の果たす役割の重要性や、税制審議会や滋賀地域交通活性化協議会での議論、県議会議員の皆様方のご意見等も踏まえ、市町と調整を行いながら、適切な負担割合を検討してまいりたいと存じます。

Q ビジョンで描く2040年代を見据えて、既存の県財政からどれほどの捻出を想定しているのか、伺う。

A 10月20日の税制審議会からの答申では、「新たな税を導入する場合の使途について、地域交通の充実のための施策に充当することが望ましい」とされたところでございます。

で、新たな税に関する一定の絵姿を県民の皆様にお示しすることは私の責任であると自覚しているところでございます。

県政運営について

Q 知事が県政を担当してきた約12年間を長期政権と捉えた場合の県庁組織運営全般と職員個々の意欲に与える弊害についての認識は?

A 約12年の就任期間を通じ、県庁の組織運営や働く職員の意識に知事である私の考えや姿勢が少なからず影響を及ぼしている可能性、これは良い意味でも悪い意味でもあると認識しております。
そのため、私と職員の間で十分議論ができているのか、独断専行になっていないのか、常に自らに問いかけているところでございます。また、「何のために、誰のために、私達は、滋賀県職員として共に働いているのか」、を職員同士で、時に私も交わり議論して、滋賀県職員の志(パーパス)として定め、職員が主体的に考え、積極的に行動することに現在取り組んでいるところでございます。
「琵琶湖と暮らしを守る。三方よしで笑顔を広げる。豊かな未来をともにつくる。」というこのパーパスを掲げる滋賀県庁として、仕事の意義を共有し、県民利益を最大化できるよう引き続き取組を進めてまいりたいと存じます。

Q 合理的政策遂行のためにどう指揮運営してきたか

A 長期的に先を見通す視点と、リアルな今を見る視点を併せ持つことが必要だと考えており、セクションごとの、部局ごとの役割と専門性に基づく着実な業務遂行に努めつつ、新たな施策の検討や機動的な体制づくりにも取り組んでいます。

また私自身、知事としては勿論、人間として俯瞰した立場から様々な問いを投げかけ、みんなで考えることを大事に指揮運営を行っています。

この約12年の間には、未曾有の経験でありましたコロナ禍をはじめ、様々な情勢変化があり、従来のような組織の枠組みや、やり方では乗り切れない事態に何度も直面してきておりますが、おかげさまで、県議会の皆様との信頼関係でありまして、県内市町との連携、色んな団体との連携、協働の枠組みというのは、一定、構築できているのではないかと考えております。

また、年度途中におきまして、機動的な人員のシフトを行いますとともに、目的ごとに部局横断の本部やプロジェクトチームをつくるなど、私も先頭に立って、限られた行政資源を、県民の利益の最大化に向けてに努めてきております。

今後も、私自身、座右の銘といたします「着眼大局、着手小局」の姿勢を持ち続け、体現し、みんなで議論をしながら、県民の皆様の願いや期待に応えていく県政運営を行ってまいりたいと存じます。

滋賀地域交通計画といわゆる「交通税」について

Q 県境をまたいで運行する事業者の経営的な負担の軽減のために、県民に税負担を求めることについて、認識を問う。

A 交通事業者を守ることを目的として、経営を直接的に支援するために県民の皆さまに新たな負担をお願いすることは、ご理解をいただくことが難しいのではないかと考えます。

一方、通勤や通学などで県境を越えて移動している県民もおられることから、「県境をまたいで運行している」とこのみをもって県税を財源とした事業の対象にふさわしくはないと思いません。大切なことは「より良い暮らし」を実現するために、みんなでいっしょに考えていくことが自治の視点からも重要だと考えております。広域交通も含めた本県の地域交通のあり方について、具体的にどういった施策のために、どのような負担をお願いすべきなのか、丁寧に説明と議論を積み重ねてまいりたいと存じます。

Q 市町に対して財源の負担を求めるのか、市町との役割と負担分担をどのように考えているか、伺う。

A 施策の役割分担について、大きくは、広域行政である県は交通軸をはじめとする県域全体のグランドデザインを描く役割を担い、最も住民に近い市や町は地域内を移動する交通網を主に担うものだと考えております。

また、人々の移動は市町域を超えて行われており、デマンド交通の

今後の人口減少の進展や物価上昇を踏まえ、地域交通を「維持」することにも大きな負担増が見込まれるところであり、運賃の見直し、新たな国費獲得、新たな支援スキームの構築に向けた国への提案・要望などを行いますとともに、現行の税収を基盤とする既存の財源で対応する努力が必要だと考えております。

また、これまで数次の財政構造改革を行ってまいりましたものの、本県の財政状況は、100億円前後の恒常的な財源不足に加え、社会保障費や公債費等の義務的経費が増加基調となる厳しい見通しですが、毎年度の予算編成を通じた不断の見直しなどにより、財源確保に努めてまいっている所存でございます。

Q 知事は任期中に「交通税」を導入したいのか。

A 地域交通計画や財源のあり方については、これまでから、県議会や県民の皆様から様々なご意見をいただきました。フォーラムの開催、ワークショップの開催などを通じて多くの御意見もいただいております。先週11月26日に「新たな税のふさわしい制度」について税制審議会に諮問を行ったところ、公共交通は生活の基盤であり、利用する人もしない人も便益があるというご意見や、新たな税の税収規模や必要性が伝わりにくいというご意見も頂いており、計画づくりや税制の議論に取り入れてまいりたいと存じます。

今回の諮問に係る審議は、今年度中に一旦、中間答申という形で取りまとめ頂き、答申を踏まえ、議会の皆様とも議論を重ねた上

大津市

目片信悟 (4期)
めかた しんご
教育・子ども若者常任委員会

桑野 仁 (3期)
くわの ひとし
厚生・産業・企業常任委員会
国入水・県入水大会・観光振興対策特別委員会

桐田真人 (2期)
きりた まこと
文スポ・土木・警察常任委員会
琵琶湖・森林・防災対策特別委員会

彦根市・犬上郡

谷口典隆 (1期)
たにぐち のりたか
環境・農水常任委員会
行財政・医療福祉対策特別委員会

長浜市

川島隆二 (5期)
かわしま りゅうじ
厚生・産業・企業常任委員会
地方創生・公共交通対策特別委員会

柴田清行 (2期)
しばた きよゆき
総務・企画・公室常任委員会
琵琶湖・森林・防災対策特別委員会

重田 剛 (2期)
しげた たけし
総務・企画・公室常任委員会
行財政・医療福祉対策特別委員会

草津市

奥村芳正 (5期)
おくむら よしまさ
文スポ・土木・警察常任委員会
国入水・県入水大会・観光振興対策特別委員会

白井幸則 (2期)
しらい ゆきのり
総務・企画・公室常任委員会
地方創生・公共交通対策特別委員会

田中英樹 (1期)
たなか ひでき
文スポ・土木・警察常任委員会
琵琶湖・森林・防災対策特別委員会



甲賀市

村上元庸 (2期)
むらかみ げんよう
厚生・産業・企業常任委員会
国入水・県入水大会・観光振興対策特別委員会

小河文人 (1期)
おがわ ふみと
総務・企画・公室常任委員会
国入水・県入水大会・観光振興対策特別委員会

野洲市

井狩辰也 (2期)
いかり たつや
文スポ・土木・警察常任委員会
国入水・県入水大会・観光振興対策特別委員会

湖南市

菅沼利紀 (2期)
すかぬま としのり
教育・子ども若者常任委員会
行財政・医療福祉対策特別委員会

高島市

海東英和 (3期)
かいとう ひでかず
環境・農水常任委員会
行財政・医療福祉対策特別委員会

東近江市・日野町・愛荘町

加藤誠一 (3期)
かとう せいいち
環境・農水常任委員会

周防清二 (3期)
すおう せいじ
厚生・産業・企業常任委員会

本田秀樹 (2期)
ほんだ ひでき
環境・農水常任委員会
地方創生・公共交通対策特別委員会

谷 成隆 (1期)
たに しげたか
教育・子ども若者常任委員会
地方創生・公共交通対策特別委員会